

事業概要	次世代小型EVモビリティ/e-バイク 設計開発、試作、輸入、販売 電子デバイス・ワイヤーハーネス 設計試作、製造 特殊車両・デザインモデル・試験車両等 設計開発、試作、3Dモデリング
部署	EV、試作関連 設計開発(現在):東名横浜開発センター(東京都町田市南町田) 同上(現在計画進行中R4/3~稼働):(仮称)福島双葉テクニカルセンター(福島県双葉郡双葉町中野地区)
所在地	〒979-1452 福島県双葉郡双葉町松倉字葉ノ木谷地197-3 〒194-0005 東京都町田市南町田3-44-14
連絡先	(電話番号)090-4056-4894/042-850-6660 (E-mail)meteo@nifty.com
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	国連 持続可能な開発目標SDGsを通じ、社会における安全で安心なモビリティ社会を構築し、自然や地域のすべての人々、生き物が共生し中長期にわたり継続できるゆとりのある優しい交通、移動環境社会を具体的にみんなが実感できる社会を目指したい。
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野 観光ビジネス/交通/防災 EV小型モビリティEVバイク等を開発導入活用し、高齢化地域の自治体、学校等と高齢者等の近隣移動インフラの開発を連携して行う。地方部山間部などにおいては現場におけるリアルなゼロエミッションによる自然環境保護に寄与する交通インフラの整備を地方地域と連携して行う。また、都市部(旧市街化エリア等)においては狭小部の災害安全及び防災減災環境改善をカーボンニュートラルと合わせ長く安心して住み続けられる街づくりを地域と連携して行う。
	URL <a href="http://www.sosin-densi.co.jp/">http://www.sosin-densi.co.jp/</a>
上記ソリューションを提供できる地域について	全国

自者の特徴	<p>弊社では2015年より千葉県幕張にて開催されている「REDBULLエアレースチャンピオンシップシリーズ」レースにおいて、オフィシャル スタッフカーとして採用。Redbullなどの先進的環境配慮企業への提供実績や、2012年から各地域のイベント(東京都島しょ部、いわき市、長野、東京、大阪など)出展により積極的なモビリティ活用のアピールを他社に先駆けいち早く行っておりました。</p> <p>2010年よりEV関連試作開発も多く手掛け、Panasonic本社やTOYOTAモータースポーツの開発委託等も手掛けており、輸入販売企画だけでなく、自社に於いて設計開発の実績技術を持っているため他社に比べ日本国内の安全性や利用環境適合などを的確に迅速に行えるメリットがあると自負いたします。</p> <p>2017年からは環境省(GEC様)と未来技術研究所様と共同プロジェクトでベトナムにおけるEV実証実験を中心的に行いました。</p> <p>また2017年より代表取締役笹田淳においては国土交通省/NALTEC等より車検取得にかかる次世代バッテリーの推奨審査を請負う一般社団法人JIMAIにおいてその推奨審査委員長として国連UN-ECE R100/136認証の第一線として従事していることよりモビリティエネルギー事情についての見識を活用できます。</p> <p>さらに弊社で総輸入元を行うEVバイク(ELMOTO)は2016 RIO ORIMPIC GAMESにおいてその優れた環境性能・動力性能及び先進的なデザインを高く評価され、2016年に開催されたリオ・デ・ジャネイロ五輪の自転車トラック競技「KEIRIN」レースにおいて先導車・ペースカーに採用されました。本年開催の2020 TOKYO ORIMPIC PARARIMPIC GAMES においてもトラック競技に於いて公式に採用の打診を受けています。</p>
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	SDGs参画にあたり協業できる地域や近隣関連企業やそのプロジェクト企画発出についての情報の収集や、自社単独では実現に向けての資金調達やPRなど連携、相談などが出来る窓口などの環境を探ることが難しいと感じています。